

花ちゃん・オ君・モンタ博士・フタ博士のかくかくド探偵立ててく〜

国立市立国立第七小学校

平成29年7月13日 NO.36 (436)

巣のようすがよく
わかりますね。



巣の柄の部分に
注目してね。



4年N君 「モンタ博士！ハチの巣を持ってきました。」

モンタ博士「どうもありがとう。これは、アシナガバチの巣だね。どこにあったのかな。」

4年N君 「おうちの軒下にあったんです。」

モンタ博士「こわれないように、丁寧に紙で包むようにして持ってきてくれたんだ。

ありがたいね。おうちの人やってくれたのかな。お礼を言っておいてね。」

4年N君 「モンタ博士！このハチの巣はどうしてこんなに小さいのですか。」

モンタ博士「まず、こんなに小さいハチの巣によく気がついたね。たいしたもんだ。感心

だね。自然や生き物に興味・関心があるということだ。立派ですね。えらい！」

4年N君 「そんなにほめられちゃうと、はずかしいです。ところで、なぜ小さいの。」

モンタ博士「それはね、この巣はまだ作り始めたばかりなのに、女王蜂が鳥に食べられた

りか、どこかで事故でもあったのか、途中でやめてしまったからなんだ。」

4年N君 「へえー。そうなんだ。そもそも、ハチの巣ってどうやって作るのですか。」

モンタ博士「そうだね。ハチというのはね、いろいろな種類がいてね、巣もいろいろ

なんだ。土に穴を掘るのもいれば、竹筒などを利用したり、どろで一戸建て

みたいに作ったり、どろで固めたまるまるとした巣もあれば、植物繊維を使ったアパートやマンションみたいなものもあるんだ。とにかく、ハチの世界は驚きでいっぱいでおもしろいよ。巣を作らず葉や木に卵を産むのもいるよ。」

4年N君 「へえー。そうなんですか。写真のようなハチの巣を作るのがハチだと思っていたけど、そうではないんですね。何だかハチっておもしろい昆虫ですね。」

モンタ博士 「そうだよ。ハチは昆虫の中でも、いろいろな巣を作るものがあることで有名なんだよ。みんながよく見つけたり、気がついたりするのは、だいたいアシナガバチの巣なんだよ。左の巣はたぶんキアシナガバチだと思うよ。」

4年N君 「そうなんですか。ハチだから刺されたら痛いんですか。」

モンタ博士 「そりゃ痛いよ。モンタ博士なんか何回も刺されたことがあるよ。」

4年N君 「見つけたらどうすればいいのですか。」

モンタ博士 「もし見つけて、ハチが巣のまわりにたくさんいたら、近づかないことだね。近づくとハチは、敵が来たと思って刺してくるんだよ。おうちの人に言って取ってもらうことだね。」

4年N君 「モンタ博士！スズメバチはもっと怖いんですよね。」

モンタ博士 「そうだね。大きな巣を作るからね。そういう場合には、市役所に電話したり、ハチを取ってくれる業者に頼むことだね。けっして近づいたりしないようにしましょう。すぐに先生か大人に知らせることだね。」

4年N君 「はい、わかりました。ところでモンタ博士、お話があちこちとってしまいましたが、左の写真のような巣はどうやって作ったのですか。」

モンタ博士 「いい質問だね。N君のように、不思議に思うことや感じる事がとても大切なことで、好奇心をもつことが『科学のはじめの一步』だね。」

4年N君 「そういえば、ハチの巣ってみんな六角形だと思いましたが、それって、どうしてなんです。何か理由とかあるんですか。」

モンタ博士 「またまたいい質問だね。その答えはね、平成26年9月12日発行の『国立てくてく2』のNO.37を見るといいよ。学校ホームページで見ることが出来るよ。ところで、ハチは巣をどうやって作るかは、また今度だね。」